

大 阪 大 学
大学院情報科学研究科
令和3(2021)年度4月入学
博士前期課程 学生募集要項
(外国人留学生対象特別選抜・8月)

この募集要項は、令和3年4月入学博士前期課程に関する7つの入学試験のうちの○印に該当します。

	入 学 試 験 の 名 称
	令和3(2021)年度博士前期課程(一般選抜)
	令和3(2021)年度博士前期課程(社会人対象特別選抜(情報基礎数学専攻))
	令和3(2021)年度博士前期課程(推薦入学特別選抜)
	令和3(2021)年度博士前期課程(学部3年次学生を対象とする特別選抜)
○	令和3(2021)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・8月)
	令和3(2021)年度博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・12月)
	令和3(2021)年度博士前期課程(イノベーションテクノロジー-英語特別コース)

令和2年3月

【注意事項】

出願者は、書類提出前に、志望する専攻の受入予定教員（あるいは専攻長）
に入学後の研究計画等について必ず連絡をとってください。

教員連絡先は、情報科学研究科ホームページで調べてください。

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/introduction/organization.html>

1. 情報科学研究科教育目標等について

〔情報科学研究科教育目標〕

大阪大学は、「物事の本質を見極める学問と教育が大学の使命であり、この使命を果たすことで大学は社会に貢献していく」という理念のもと、「地域に生き世界に伸びる」をモットーに、次代の社会を支え、人類の理想の実現をはかる有能な人材を社会に輩出することを目標としています。

その目標を実現するため、学部および研究科ならびに全学的な教育組織において、

- 高度な専門性と深い学識
- 教養・デザイン力・国際性

を身につけた知識基盤社会のリーダーとなるべき人材の育成に取り組んでいます。

大阪大学の教育目標を受けて、情報科学研究科では、「我々人類が、豊かで充実した社会生活を営むためには、高度な情報社会の実現が必要不可欠であり、これを可能にする新しい技術や新しいシステムを生み出し、社会に変革をもたらすための学問が情報科学である」との理念に基づき、情報科学技術に関する深い学識を身につけ、当該分野を牽引し、新たな学術領域を開拓する技術者、研究者、および、教育者等を輩出することを目標としています。

情報科学技術分野や数学・生命科学などの関連分野、多様な応用分野において、博士前期課程では、

- 当該分野に関わる広範な教養と高度な専門知識ならびに技能
- 新しいシステムを構想して研究開発できるデザイン力
- 国際的な視野を持って活動できるコミュニケーション力
- 人と協働してプロジェクトを遂行できるマネジメント力

博士後期課程では、これらに加えて、

- 当該分野において自ら設定した課題を探究できる研究能力
- 世界的な視野で技術者・研究者を先導するリーダーシップ力

を身につけ、これらを駆使して高い倫理観をもって活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

〔情報科学研究科学位授与の方針〕（ディプロマ・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、所定の期間在学し、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能ならびに教養・デザイン力・国際性を身につけ、所定の単位を修得し審査および試験に合格した学生に学位を授与します。

大阪大学のディプロマ・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークにより、以下にあげる要件を満たした学生に学位を授与します。

- 所定の単位を修得した上で、専攻分野における研究能力や高度の専門性が求められる職業を担うための知識を身につけている

- 必要な研究指導を受けて作成・提出された修士学位論文が明瞭かつ平明に記述され、専攻分野の発展に貢献する研究内容を含んでいて、当該分野に関する十分な学識を有している

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークにより、以下にあげる要件を満たした学生に学位を授与します。

- 情報科学の学術領域において、未知の事象や事物の発見、新しい理論の構築と展開、新しい技術、機器、手法、ならびにアルゴリズムの開発や発明と応用、新しい学問的概念の提出など、学理とその応用に関する重要な貢献を果たしている

- 必要な研究指導を受けて作成・提出された博士学位論文が明瞭かつ平明に記述され、博士学位論文の学術内容を含む分野に関する十分な全般的知識を有している

- 独立した研究者として研究を遂行できる学力を有し、当該論文の学術内容が社会に対して貢献できる

〔情報科学研究科教育課程編成・実施の方針〕（カリキュラム・ポリシー）

大阪大学は、学位授与の方針に掲げる高度な知識・技能などを修得させるために、専攻分野に関する科目、大学院横断教育科目および博士課程教育リーディングプログラム科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等を適切に組合せた高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

大阪大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、情報科学の学術領域を俯瞰し基礎的素養を涵養できる体系的なコースワークのために、専攻ごとの専門性を獲得するための基礎科目のほかに、周辺の重要分野を網羅した境界横断的な科目を配置しています。また、分野横断型融合科目や、産業界などの外部から講師を招いて最新の技術動向をカバーする特別講義科目、国内外の企業や研究機関へのインターンシップ科目、プロジェクト型演習科目など実践力を育てる科目を配置することによって、高度技術者・研究者としての素養が身に付くとともに、社会の多様な要請に対応した幅広い知識を修得できます。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

情報科学研究科の博士後期課程では、情報科学の学術領域における高度な専門的知識を最先端の学識へと深化させる体系的なコースワークのために、最先端の科学・技術を修得できる専門科目に加え、国内外の企業や研究機関等へのインターンシップ科目などを配置し、新しい学術的価値を生み出す能力を養います。また、それを活用して新しい社会的価値を創出できる人材の育成を行います。このような教養・デザイン力・国際性を涵養する情報科学技術に係わる高度な授業を開講するとともに優れた研究指導を行います。

単位認定に際しては、レポートや試験などを課し、一定の成績を修めた学生に対して単位を認定します。また、極めて優秀な成績を修めた学生は、教授会での審議によって修業期間を短縮して修了することも可能です。

【情報科学研究科の入学者受け入れの方針】（アドミッション・ポリシー）

大阪大学は、教育目標に定める人材を育成するため、学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識および主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、情報科学研究科の博士前期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現を可能にする情報科学技術の確立と深化を担う意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系の学部で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めるために、情報科学技術以外の分野を学んできた人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

情報科学研究科の博士後期課程では、国内外を問わず、より高度な情報社会の実現のために情報科学の学術領域にイノベーションを創起する意欲を持った学生を受け入れます。このため、理工系などの研究科(博士前期課程・修士課程)で情報科学技術を学んできた人、情報科学技術の生物学や医学などへの応用や展開に興味を持つ人、既にこれらの研究科を修了し、社会のさまざまな分野で活躍しながら、情報科学の学術領域への貢献を強く願っている人を受け入れます。さらに幅広く人材を求めるために、情報科学以外の研究科等に在籍する人や、社会人で情報科学に関して勉学や研究に取り組む意欲がある人も受け入れます。国内に限定することなく、海外からも秀でた学生を積極的に受け入れます。これらのために、学力試験、面接試験などによる多様な選抜試験を実施しています。

2. 募集人員

専攻名	募集人員
情報基礎数学専攻	若干名
情報数理学専攻	
コンピュータサイエンス専攻	
情報システム工学専攻	
情報ネットワーク学専攻	
マルチメディア工学専攻	
バイオ情報工学専攻	

3. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、修学に必要な日本語能力を有する外国人留学生とします。

- (1) 我が国の大学又は専門職大学を卒業した者及び令和3年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第7項の規程により大学改革支援・学位授与機構から学士を授与された者及び令和3年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学(専門職大学に相当する外国の大学も含む。以下同じ。)の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和3年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年2月7日文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者で、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 短期大学、高等専門学校、各種学校等の卒業生やその他の教育施設の修了者で令和3年3月31日までに22歳に達する者で、かつ、本研究科において実施する個別の出願資格審査により大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

4. 出願資格審査

前記の3. 出願資格(9)～(10)により出願しようとする者は、事前に出願資格審査を受ける必要があります。出願資格を認められた者のみが願書を提出できます。

申請書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、申請書類を一括して封筒(角形2号33×24cm)に入れ、提出期間内に必着するように郵送してください。

封筒表に「博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・8月) 出願資格審査申請」と朱書きしてください。

提出期間	令和2年5月25日(月)～令和2年6月5日(金)
申請書類	出願に要する書類等一覧に記載の No.1～3
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒(角形2号(33×24cm))に入れて、大学院係に提出してください。

令和2年6月3日(水)～令和2年6月5日(金)	9:00～11:30、 13:00～16:00
-------------------------	-------------------------

なお、出願資格審査の結果は、令和2年6月16日(火)に郵送します。届かない場合は、出願期間に間に合うように大学院係へ問い合わせてください。

5. 出願手続

入学志願者は、**事前に、受入予定教員(あるいは専攻長)に連絡をとり確認印をもらったうえで**、下記要領で出願してください。日本国外からの出願等で確認印をもらうのが困難なときは、**受入予定教員(あるいは専攻長)に相談**してください。

出願書類は郵送してください。簡易書留郵便を利用し、出願書類を一括して封筒(角形2号33×24cm)に入れ、出願期間内に必着するように郵送してください。

封筒表に「**博士前期課程(外国人留学生対象特別選抜・8月)出願書類**」と朱書きしてください。

出願期間	令和2年6月22日(月)～令和2年7月3日(金)	
出願書類	出願資格(1)～(8)	出願に要する書類等一覧 No.4～14
	出願資格(9)～(10)の出願資格審査に合格した者	出願に要する書類等一覧 No.4・5 及び No.8～14
提出先	〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号 大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係	

但し、やむを得ず持参する場合は、次の期間内に封筒(角形2号(33×24cm))に入れて、大学院係へ提出してください。

令和2年7月1日(水)～令和2年7月3日(金)	9:00～11:30、 13:00～16:00
-------------------------	-------------------------

受験票は、令和2年7月10日(金)に郵送します。7月17日(金)までに届かない場合は、大学院係まで連絡してください。

6. 検定料

30,000円

支払場所 最寄りの銀行窓口(ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。)

なお、ゆうちょ銀行での振り込みはできません。

支払方法 本研究科所定の振込用紙を用いて指定口座に振り込んでください。

振込手数料は振込者負担です。

銀行から収納印をうけた**検定料振込証明書**を所定用紙に貼付のうえ、提出してください。

なお、国費外国人留学生は、大学院係までお問い合わせください。

日本国外から出願する場合：

検定料30,000円(日本円)を次の要領により振込により納入し、外国送金依頼書のコピーを提出してください。現地振込銀行において別途手数料が掛かる場合は、上の金額とは別に窓口で支払いが必要です。

送金種別：電信送金
 支払銀行手数料：振込依頼人負担
 送金金額：30,000円
 送金目的：入学検定料

(※アプリケーション記入事項)

受取銀行：MFG Bank, Ltd.
 スイフトコード：BOTKJPJT（1桁を求められた場合は：BOTKJPJTXXX）
 支店名：IBARAKI BRANCH
 受取口座番号：219-1300216
 受取人名：OSAKA DAIGAKU JOUHOUKAGAKUKENKYUKA
 送金通貨：JPY

もしくは、検定料納付システム（令和2年4月以降検定料納入システムに移行予定）を利用し、クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy 利用の銀行決済等により検定料を納入することも可能です。詳細は本研究科ホームページ（トップページ/入試情報/令和3年度（2021年度）学生募集要項）に掲載の「検定料納付システムによる検定料の納入手続」を参照してください。

7. 選抜方法

選抜は、学力試験及び出身（在籍）大学の成績証明書及び TOEIC 等の成績等を総合して行います。（情報基礎数学専攻は、TOEIC 等の成績を除く。）

学力試験は、筆記試験及び口頭試問により行います。

情報基礎数学専攻を除く6専攻の志願者は、TOEIC 等の公開テストの成績を提出してください。情報数理学専攻の志願者は TOEFL の成績でも可能です。その他の5専攻の志願者は、TOEIC の成績の提出が困難な場合には、TOEFL の成績でも提出可能です。TOEIC 等の成績は、出願時あるいは入学試験初日に原本を提出してください。出願時に提出した場合でも入学試験初日の再提出を認めます。写しは不可です。

出願時に TOEIC 等の成績を未提出の者及び出願時に提出し再提出する者は、入学試験初日に各試験室において、試験監督者の指示により成績原本を提出してください。

試験日時	情報基礎数学専攻	筆記試験 令和2年 8月 1日 (土) 10:00～16:30 口頭試問 令和2年 8月 2日 (日) 9:00～
	情報数理学専攻	筆記試験 令和2年 8月 1日 (土) 9:00～ 口頭試問 令和2年 8月 2日 (日) 10:00～
	その他の5専攻	筆記試験など 令和2年 8月 1日 (土) 9:00～ 口頭試問 令和2年 8月 2日 (日) 13:00～
試験場所	情報基礎数学専攻	吹田地区 情報科学研究科
	情報数理学専攻	
	コンピュータサイエンス専攻	
	情報システム工学専攻	
	情報ネットワーク学専攻	
	マルチメディア工学専攻	
	バイオ情報工学専攻	
試験科目及び時間は、別紙記載のとおりです。その他の試験に関する詳細は、受験票送付時に通知します。		

8. 合格者発表

令和2年8月17日(月)午後2時から、吹田地区の情報科学研究科A棟内1階掲示板において受験番号で発表のうえ、合否通知書を郵送します。

なお、電話・メール等による合否の問い合わせには応じません。

9. 入学時に必要な経費

入学料 ……282,000円

授業料 ……535,800円(年額)

入学後、半期分(267,900円)ずつ口座振替により納入することとなります。

- (1) 入学料、授業料の額は、令和2年4月現在の額です。これらは改定することがあります。令和3年度の必要経費は、入学手続時までに別途お知らせします。
- (2) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
- (3) 入学後、国費外国人留学生として在学する場合は、入学料、授業料は不要です。

10. 個人情報の取扱い

- (1) 出願時に提出された氏名、住所、その他個人情報は、「入学者選抜(出願処理、選抜試験実施)」、「合格者発表」及び「入学手続」等の入試業務を行うために利用します。
なお、合格者の個人情報は合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムを案内するために利用することがあります。
また、入学者の個人情報は、「教務関係(学籍管理、修学指導)」、「学生支援関係(健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等)」及び「授業料収納に関する業務」を行うためにも利用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計・分析及び入学者選抜方法の調査・研究のために利用します。
- (3) 上記の業務を行うにあたり、一部の業務を外部の業者に委託する場合があります。
この場合、外部の事業者と個人情報の取扱いが適切に行われるよう契約を結んだ上で、当該事業者に対して、提出していただいた個人情報の全部または、一部を提供します。

11. 注意事項

- (1) TOEIC(TOEFL)の成績提出を免除する場合があります。例えば、母語を英語とする者、すべての授業が英語で行われている大学を卒業または卒業見込みの者などです。該当者は、応募書類を提出する前に、受入予定教員に連絡をして成績の提出が免除されるかどうかの確認をしてください。
- (2) 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、原則として、令和2年6月5日(金)までに大学院係へ連絡してください。
- (3) 出願書類に不備がある場合は、原則として受理しません。
- (4) 出願手続後は、いかなる事情があっても願書記載事項の変更は認めません。
- (5) 入学手続は、令和3年3月11日(木)～3月12日(金)に行います。詳細は、合格者に対し後日通知します。
- (6) 令和3年3月31日までに入学資格(大阪大学大学院学則第20条)を満たさない者は、入学許可を取り消します。
また、入学願書の履歴、入学資格等につき虚偽の記載をした者は、入学手続後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (7) 振り込まれた検定料は、次の場合を除き返還しません。
 - ① 出願したが、受験資格がなかった場合
 - ② 出願書類受付期間終了後に書類が到着したため、受理されなかった場合
 - ③ 出願書類に不備があり、受理されなかった場合
 - ④ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ⑤ 検定料を、誤って二重に振り込んだ場合
 - ⑥ その他、大学が返還を認めた場合上記の場合は、返還請求を行ってください。返還請求の方法は、本研究科大学院係までお問い合わせください。

- (8) 不測の事態に伴う入学試験実施への影響と対応は、必要に応じて本研究科ホームページに掲載しますので、必ず確認してください。
- (9) 本入学試験は、在留資格「留学」を有する外国人を対象とする試験です。従って、在留資格が「留学」でない者は、原則として出願できません。現在外国に在住している者及び現在日本に在住し「留学」以外の在留資格を有する者で、本試験の出願を希望する者は、入学時に「留学ビザ」に変更してください。
- (10) 情報科学研究科の博士前期課程の入学試験は、当該入学試験の他「一般選抜」「推薦入学特別選抜」「社会人対象特別選抜（情報基礎数学専攻）」「学部3年次学生を対象とする特別選抜」「外国人留学生特別選抜（12月）」「インフォメーションテクノロジー英語特別コース」があります。
- (11) 外国人留学生の区分
- 国費外国人留学生・・・日本政府奨学金留学生（文部科学省国費留学生）
 - 外国政府派遣留学生・・・外国政府機関の奨学金を受ける者
 - 私費外国人留学生・・・上記以外の外国人留学生

12. その他

博士課程教育リーディングプログラムについて

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる大学院プログラムがあります。このプログラムでは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

情報科学研究科博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名 等		対象となる研究科・専攻等	HP URL 等
超域イノベーション博士課程プログラム	Basic コース・本履修生	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	http://www.chi.osaka-u.ac.jp 本プログラムは1年半のBasicコースとそれに続く3年間（4年制博士課程の場合は2年間）のAdvancedコースから編成されています。Basicコースの履修は1年次の10月からになります。本履修生はAdvancedコースの履修を前提としてBasicコースを履修します。準履修生は、条件を満たせば、Advancedコースに出願することができます。
	Basic コース・準履修生	文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	
ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム		情報科学研究科（情報数理学専攻、コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻）、基礎工学研究科（機能創成専攻、システム創成専攻）、生命機能研究科	http://www.humanware.osaka-u.ac.jp

令和2年3月

《 問い合わせ先 》

大阪大学大学院情報科学研究科 大学院係

〒 565-0871 大阪府吹田市山田丘1番5号

電話 06-6879-4508・4509 (直通)

E-mail office@ist.osaka-u.ac.jp

情報科学研究科ホームページ

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/>

出願に要する書類等一覧

● 出願資格審査の必要書類

No.	書 類	内 容
1	出願資格審査書 (履歴)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
2	出願資格審査書 (研究業績)	所定の用紙に必要事項を記入してください。
3	成績証明書	最終学歴の成績証明書、又はこれに準ずるもので、出身学校が証明したもの。

● 出願時の必要書類

4	入学願書 受検票・写真票	<p>所定用紙に必要事項を記入してください。</p> <p>受入予定教員 (あるいは専攻長) に承認印を必ずもらってから出願してください。</p> <p>写真は、3ヶ月以内に単身撮影したものを貼付してください。</p> <p>1) 記入事項は、日本語又は英語で記入してください。</p> <p>2) 固有名詞はすべて正式な名称とし、省略しないでください。</p> <p>3) 願書には、原則として住民票又は旅券 (パスポート) に記載の氏名を記入してください。</p> <p>4) 記入の際、消すことができるボールペンは使用しないでください。</p>
5	研究希望調書	所定の用紙 (別添ワードファイル) に必要事項を記入してください。
6	最終出身学校 (在籍学校) の成績証明書	出身 (在籍) 学校が発行したもの。但し、本学理学部、工学部、基礎工学部を卒業見込みの者は提出不要です。
7	最終出身学校の卒業 (見込) 証明書	出身 (在籍) 学校が発行したもの。但し、本学理学部、工学部、基礎工学部を卒業見込みの者は提出不要です。
8	TOEIC あるいは TOEFL の成績	<p>情報基礎数学専攻は、英語の試験を実施しますので、提出不要です。</p> <p>(情報数理学専攻の志願者) TOEIC 又は TOEFL のどちらの成績でも可能です。平成30年7月以降の TOEIC 公開テストの成績 (Official Score Certificate (公式認定証) に限る) または、TOEFL の成績 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) を出願時あるいは入学試験初日に提出してください。写しは不可です。TOEIC-IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test、及び TOEFL-ITP テストは認めません。入学試験初日の再提出を認めます。</p> <p>なお、令和元年8月以降の TOEFL iBT テストのスコアについては、'Test Date' スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest スコアは活用しません。</p> <p>(コンピュータサイエンス専攻、情報システム工学専攻、情報ネットワーク学専攻、マルチメディア工学専攻、バイオ情報工学専攻の志願者)</p> <p>平成30年7月以降の TOEIC 公開テストの成績 (Official Score Certificate (公式認定証) に限る) を出願時あるいは入学試験初日に提出してください。写しは不可です。TOEIC の成績の提出が困難な場合は、平成30年7月以降の TOEFL の成績 (Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report) でも可能です。TOEIC-IP テスト、TOEIC Speaking & Writing Tests、TOEIC Speaking Test、TOEIC Bridge Test、及び TOEFL-ITP テストは認めません。入学試験初日の再提出を認めます。</p> <p>なお、令和元年8月以降の TOEFL iBT テストのスコアについては、'Test Date' スコアのみを出願スコアとして活用し、MyBest スコアは活用しません。</p>
9	日本語能力についての証明書	<p>次のいずれかを提出してください。(様式任意) 但し、日本の大学を卒業した者は提出不要です。</p> <p>1) 受入 (予定) 教員が証明したもの</p> <p>2) 日本語能力試験合格結果通知書</p> <p>3) 大阪大学国際教育交流センターで発行されたもの</p>
10	住民票又は在留カードの写し	<p>日本に在住する外国人の志願者は、市区町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」又は「在留カードの両面の写し」を提出してください。</p> <p>*出願者以外の世帯員については、証明不要です。</p>
11	国費外国人留学生証明書	国費外国人留学生は提出してください。但し、本学に在籍中の者は提出不要です。

12	検定料振込証明書	<p>事前に、検定料30,000円を指定口座に振り込みのうえ、検定料振込証明書を所定用紙に貼付してください。(ATM(現金自動預払機)は利用しないでください。)</p> <p>日本国外から出願する場合は、検定料振込証明書に代えて、外国送金依頼書のコピーを提出してください。</p> <p>検定料納付システムにより納入する場合は、検定料振込証明書に代えて、検定料収納証明書を提出してください。</p>
13	封筒(受験用送付用)	<p>封筒 角形2号(33×24 cm)に志願者の住所・氏名を明記し、140円切手を貼付してください。なお、日本国外に在住する志願者は切手の貼付は不要です。</p>
14	発送票	<p>所定の用紙を提出してください。</p>

(注) 日本語・英語以外の証明書、文書、資料等については、日本語又は英語訳を添付してください。

I 試験科目

専攻名	試験科目
情報基礎数学専攻	<p>【筆記試験】</p> <p>① 英語 ② 数学</p> <p>【口頭試問】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
情報数理学専攻	<p>【筆記試験】</p> <p>情報数理学 http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/research/majors/ips/ を参照、又は、情報数理学専攻長までお問い合わせください。</p> <p>【口頭試問】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。</p>
<p>コンピュータサイエンス専攻</p> <p>情報システム工学専攻</p> <p>情報ネットワーク学専攻</p> <p>マルチメディア工学専攻</p> <p>バイオ情報工学専攻</p>	<p>【筆記試験など】</p> <p>受験者は、次の(A)又は(B)のどちらか1つの科目を選択してください。願書の「選択科目名」欄には、「情報工学」又は「生物情報」のいずれかを必ず記入してください。</p> <p>「情報工学」を選択し、試験に合格した場合は、バイオ情報工学専攻の2講座(代謝情報工学講座、バイオ情報計測学講座)を除くすべての講座のいずれかに入学することができます。</p> <p>「生物情報」を選択し、試験に合格した場合は、バイオ情報工学専攻の2講座(代謝情報工学講座、バイオ情報計測学講座)のいずれかにのみ入学することができます。受験に際しては、必ず受入予定教員に連絡してから受験してください。</p> <p>(A) 情報工学 [情報工学を選択した場合の専門科目の出題範囲]</p> <p>専門科目 [必須問題]</p> <p>1 アルゴリズムとプログラミング アルゴリズム設計、手続き型プログラム、計算量、データ構造、再帰、整列アルゴリズム、探索アルゴリズム</p> <p>2 計算機システムとシステムプログラム 計算機システム分野： 数の表現、演算制御、命令実行制御、記憶制御、入出力制御 システムプログラム分野： プロセス管理、処理装置管理、記憶管理、入出力管理、ファイル管理</p>

専門科目 [選択問題] 以下の5科目から2科目選択

1 離散構造

集合・命題、関係、漸化式、論理関数、ブール代数、最簡積和形、命題論理、述語論理、導出原理、グラフ

2 計算理論

語・言語、有限オートマトン、正規表現・言語、形式文法とそのクラス、導出・認識・構文解析、文脈自由文法・言語、プッシュダウンオートマトン

3 ネットワーク

情報源符号化・通信路符号化、階層化モデル、プロトコルとインターフェース、各層プロトコルの設計・仕様・評価手法、ネットワークアプリケーション

4 電子回路と論理設計

ダイオード・トランジスタ、MOSFET、アナログ電子回路、演算増幅器、記憶素子、数の表現、論理代数と論理関数、組合せ論理回路、順序回路、算術演算回路

5 数学解析と信号処理

微分方程式、フーリエ級数、ラプラス変換、複素関数、信号の演算、連続時間信号のフーリエ解析、サンプリング、離散時間信号のフーリエ解析、Z変換、フィルタ

(B) 生物情報 [生物情報を選択した場合の専門科目の出題範囲]

専門科目：基礎生物学 (Essential 細胞生物学 (南江堂) の内容をもとに出題します。)

専門口述試問：バイオ情報工学専攻に入学した際の研究希望内容を口頭発表し、口述試問を行います。

【 口述試問 】 所定の時刻に指定の受験者控室に集合してください。

(注) 受験者控室は、受験票送付時に通知します。

II 試験時間割

試験室及び口頭試問についての詳細は、受験票送付時に通知します。

● 情報基礎数学専攻

試験日	試験科目		試験時間
令和2年 8月 1日 (土)	筆記試験	英語	10:00 ~ 12:00
		数学	13:30 ~ 16:30
令和2年 8月 2日 (日)	口頭試問		9:00 ~ (受験者控室に集合してください。)

● 情報数理学専攻

試験日	試験科目		試験時間
令和2年 8月 1日 (土)	筆記試験	情報数理学	9:00 ~ 12:00
令和2年 8月 2日 (日)	口頭試問		10:00 ~ (受験者控室に集合してください。)

● コンピュータサイエンス専攻

情報システム工学専攻
 情報ネットワーク学専攻
 マルチメディア工学専攻
 バイオ情報工学専攻

(A) 情報工学

試験日	試験科目		試験時間
令和2年 8月 1日 (土)	筆記試験	情報工学	9:00 ~ 12:00
令和2年 8月 2日 (日)	口頭試問		13:00 ~ (受験者控室に集合してください。)

(B) 生物情報

試験日	試験科目		試験時間
令和2年 8月 1日 (土)	筆記試験	生物情報	9:00 ~ 12:00
	専門口述試問		13:30 ~ 16:30
令和2年 8月 2日 (日)	口頭試問		13:00 ~ (受験者控室に集合してください。)